

## 脳死判定目的の転院搬送に関する作業班概要

- 厚生科学審議会疾病対策部会臓器移植委員会の議論において、脳死判定を目的とした転院搬送に関する運用を進めるに当たっては、学会から推薦された班員等で構成する「脳死判定目的の転院搬送に関する作業班」（以下「作業班」という。）において、留意点や課題の提示とそれに対する対策について十分な議論を行うべきとされたため作業班を設置した。
  
- 作業班の班員は以下のとおり。  
（班長）坂本哲也（帝京大学医学部附属病院、日本救急医学会）  
浅井篤（東北大学大学院医学系研究科医療倫理学分野）  
渥美生弘（総合病院聖隷浜松病院、日本救急医学会）  
小笠原邦昭（岩手医科大学附属病院、日本脳神経外科学会）  
黒田泰弘（香川大学医学部救急災害医学、日本集中治療医学会）  
杉江英里子（神戸市立医療センター中央市民病院、日本集中治療医学会）  
中村健太郎（鹿児島県立大島病院、日本集中治療医学会）  
水野紀子（白鷗大学法学部）  
宮本享（京都大学医学部附属病院、日本脳神経外科学会）  
横堀将司（日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野、日本救急医学会）
  
- 令和4年2月14日に第1回作業班を開催し、転院搬送における課題の抽出とそれぞれに対しての解決の方策と今後の方向性を議論した。今後、継続して検討する予定。